現シ資料2 現行システムプログラム仕様定義(法人調定データ抽出)【抜粋】

プログラム仕様定義	法人二税	サブシステム	調定処理	プロセス	抽出	プログラム	作成日		作成者		ページ
	ID	ＡＤ	ID	Ｄ１４	ID	ＺＥＢＤ１４０１	修正日		修正者		１／１

入　力	処　理　機　能	出　力
調定トラン 納税者マスタ 電気法人調定トラン (2020.11.30追加)	処理概要 今回調定対象の調定レコードを抽出し抽出ワークを出力する。（一般調定分） １．調定対象データを抽出する。 １．１．（年度テーブルの前回調定処理日　＜　調定トランの調定年月日　かつ 年度テーブルの今回調定年月日　≧　調定トランの調定年月日） ２．抽出ファイルの出力 ２．１．抽出ワーク１を出力する。（ファイル編集条件表　フー００１を参照） ２．２．抽出ワーク１を出力するデータのうち、申告区分コード＝４０（みなす申告入力分）については 抽出ワーク４にも出力する。（ファイル編集条件表　フー００２を参照） ※　但し、特別申告入力された、前事業年度が存在しないみなすの場合は出力をスキップする。 2008.7.15 特別申告入力でも前事業年度の存在チェックを行っているため、実際にスキップされるケースはデータ修正のみと考えられる。 (2024/5/8追記)仕変2317にて前事業年度の存在チェックを外している ※　資本金、積立金取得のため、前事業年度の条件に申告区分＝50～53を追加する。 仕様変更№1098対応 2011.11.30 注意：　調定トランマスタの減算項目のデータは正数で入っているが、ロジックがデータの内容が負数で入っている形で作成してある為、調定トランマスタの減算項目を計算に使用する場合は、-1で乗算して負数にすること(2000/09/20)。 ※　地方法人特別税対応 2008.08.20 MSYS) ※　仕様変更№1098対応 2011.11.30 ※　みえ森と緑の県民税対応 2013.05.21 MSYS) 抽出ワーク１、抽出ワーク４に均等割超過課税額を編集する。 ３．H27税制改正（2015.06.02　　） 準備金、平成27改正控除追加 ※ 電気供給業対応（2020.11.30　　） 電気法人調定トランの読み込みを追加し、抽出ワーク１、抽出ワーク４に、電気供給業に関しても、出力する。 （ファイル編集条件表　フー００１を参照。） （ファイル編集条件表　フー００２を参照。）	抽出ワーク1 抽出ワーク4